

「福祉用具個別援助計画書」導入はじまる！

さくらメディカル(株)では、八月二日(新潟ユニゾンプラザ)と三日(上越文化会館)に、福祉用具を最も効果的にご利用いただくための「公開事例検討会&講演会」を開催しました。

自分に合った福祉用具は、ご本人とご

家族の暮らしを楽にします。

福祉用具のご利用にあたっては、利用される方の「身体状況」と、ご家族などの「介護力」、住まい「住環境」の三つの視点から最適な福祉用具が選ばれていることが大切です。

あなたの家の
介護ベッドや車椅子などの福祉用具は、
最も効果的に
ご利用いただいていますか？

×十色の福祉用具



一人ひとりの状況やご希望に合わせた福祉用具があります

「身体状況」と「介護力」と「住環境」は、生活するうちに少しずつ変化します。この変化に合わせて、福祉用具を見直していくことが効果的なご利用になります。

介護保険サービスにおける福祉用具貸与(レンタル)の大きな特長は、身体状況などの変化に応じて、適切に選ばれた福祉用具をご利用することによって、住み慣れた環境での生活を支えることです。

昨年四月に、福祉用具を効果的にご

提供するための新たな取り組みとして、「福祉用具個別援助計画書」が発表されました。

さくらメディカル(株)では、この個別援助計画書を導入・活用して、より効果的な福祉用具をご提供するための準備を進めてきました。そして、いよいよ導入をはじめるにあたり、個別援助計画書を活用した「公開事例検討会&講演会」が開催されました。

以下に検討会と講演会の模様をご紹介します。

「公開事例検討会&講演会」を開催



武藤社長の挨拶(上越会場)

当日は月初めの開催にもかかわらず、介護保険の中心で活躍され

ているケアマネジャー(介護支援専門員)の方々が、新潟会場(新潟ユニゾンプラザ)で約60名、上越会場(上越文化会館)で約80名の約140名のご参加があり、熱心にメモを取っておられました。

今回のプログラムは、第一部の「事例検討会」と第二部の「講演会」の二部構成で行われました。

重要なことは、選定理由の明確化

ために次の三つの視点で現状を把握します。

- ① 利用者の身体状況
- ② 家族などの介護力
- ③ 住まいの住環境

そのうえで、生活全般の解決すべき課題とその課題に対する福祉用具の利用目標を設定します。

そして、利用目標を達成するための福祉用具を選びます。ここでのポイント

は、選定理由を曖昧にするのではなく、文字で明確にすることです。最後に、安全に福祉用具をご利用いただくために、導入した福祉用具の使用上の注意や介助のポイントなどを「留意点と注意点」としてまとめます。



発表内容にアドバイスをされる金沢善智先生(上越会場)

だから援助計画書が必要！

介護保険制度では、ケアマネジャーが作成するケアプランに沿って、訪問介護など個々のサービス提供事業者が個別援助計画を作成し、実行されています。この「個別援助計画書」によって、計画されたことがきちんと実行され、期待された効果があつたかをチェックしています。

前頁より

質の高い、個別サービスの充実を 事例検討会と講演会で新しい情報

さくらメディカル(株)では、このたびの事例検討会を出発点として、個別援助計画書のサービスの現場での導入をはじめました。

今回の個別援助計画書の導入を含め当社では、今後ご利用者やご家族に心から喜んでいただける質の高いサービスの提供を目指していきます。

【第一部】事例検討会

「自分でできることは自分でやりたい！」を実現する援助計画

事例として示されたのは、半年ほど前に脳梗塞で倒れ、三ヶ月間の入院を経て退院し、自宅

で生活している七十歳の女性。趣味の庭いじりが

できないためか、ベッドから庭を眺めて、ボーッと

していることが多く、また、「人の手を借りない

と身のまわりのことができない」ことにストレス

を感じており、「自分のことは、自分でやりたい」と

思っています。

この希望に対して、当社の福祉用具専門相談員

でもある二人の発表者が、個別援助計画書を用いて

自分なりにご利用者の身体やご家族の状況などを

考慮し、福祉用具の利用目標と選定した福祉用具

とその理由、留意点を発表しました。

そして、これらの発表に対する金沢先生の講評と助言をいただき、効果的な福祉用具を選定・提供するための理解を深めることができました。

【第二部】講演会

アクセシメントとモニタリングに欠かせないサービスの視点

金沢先生の講演は、立ち座りの動作にはじま

って脳卒中の後遺症や福祉用具・住宅改修のさま

ざま導入・実施事例、そして、福祉用具専門相談

員の仕事とは？等々、福祉用具に関する専門的な

知識の基本と応用を具体的にわかりやすく説明し

てくださいました。内容は、真意をついた興味深

いものでしたので、アツという間に時間が過ぎて

しまいました。

講演のなかで特に印象的だったのが、動かなければ悪くなるからと「利用

者」に24時間がんばらせていませんか？、「生活リトレーニング」と計画していませんか？」という問いかけでした。

生活動作は毎日24時間続き、「生活リトレーニング」としてしまうと、ご本人に24時間がんばらせてしまうことになりま

す。これはかなり辛いこと

とです。

リハビリは、何か楽しいと思えることがあるか

らこそ続けられ、少々辛くても我慢ができます

。「お楽しみ→ちよつとが

んばり→お楽しみ→ちよつとが

んばり」が効果的に継続できるコツです。

また、講演の最後には、在宅介護では一人で抱え

込まないで、連携すること

が大切であること、連携する相手の専門性を尊重し、自分

にあるものを素直に尊敬するという「尊敬と尊重」の必要性を教

えていただきました。

【用語の説明】

・アクセシメント：身体状況や介護力、住環境などの情報を収集・分析して、問題点や課題を導き出すこと。

・モニタリング：定期的な訪問やお電話で利用状況を確認し、身体状況の変化に応じて適切な福祉用具を選定・提供すること。

事例発表者の感想



新潟会場の発表者（中央が永田）

この福祉用具がどうして必要なのか？

させられました。

この経験を活かして現在、ご利用者の身体状況や住環境、その方の意向や今日までの生活などを踏まえながら、的確な福祉用具の選定をさせていただこうと、日々勉強

悪戦苦闘を乗り越えて現場で活用！

今回の公開事例検討会での経験は、私自身もとても勉強になりました。

個別援助計画書の作成にあたっては、まだまだ慣れないために悪戦苦闘しました。

特に「大変だな」と感じたことは、ご利用者やご家族が読んでもわかり



上越会場の発表者（左が竹中）

やすい語句の使い方や文章の書き方です。そして、その福祉用具を選定した「理由」をはっきりさせることでした。また、福祉用具の使用にあたって注意していただきたい「留意点」を書き出すことです。しかし、口頭ではなく文書できちんとまとめてご説明することが、福祉用具をより安全に、効果的にご活用いただくためには必要だ！と感じました。

ケアプランを実現するための個別援助計画書が作成できるように勉強して、サービスの現場で活用していきます。

上越営業部 竹中隆博
(福祉用具専門相談員)

介護簡単メニュー

猛暑で疲れ気味のからだに やさしい一品 デザート豆腐



毎号ご好評の「介護食」ですが、今回は栄養たっぷりだけで美味しい一品！です。介護している母が喜んで食べてくれる簡単なデザート豆腐をご紹介します。

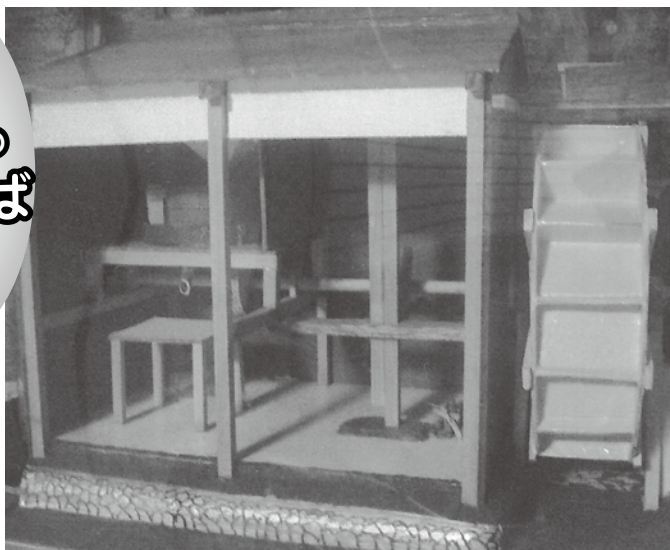
作り方

- ① 絹豆腐1丁小300gを水切りします（製品によって多少かたまり具合が異なります）。
- ② オクラ3本を柔らかく茹でておきます。
- ③ スイートコーンのクリーム缶1缶180g（粒でないタイプ）を用意します。
- ④ フードプロセッサーに①と②、③を入れて、砂糖小さじ3杯、レモン汁小さじ2杯を入れてかけて、何度かヘラで縁に付いたものを落としてかけ直します。
- ⑤ 容器(タッパ)の中に入れて冷蔵庫で冷やします。
- ⑥ みかん缶のみかん1個とペパーミントを飾りにつけて出来上がり！

高田訪問介護課 板倉寛子(介護食士)

趣味の ひるば

水車小屋の
ミニチュア



本物そっくり=作ることに意義 水車小屋がコッパコッパ動く

読者の皆様の「趣味の広場」に今号も素敵な作品が届きました。
ご紹介する作品は、上越市在住のM様(八十代)の「創作作品」です。
好きな木工模型で余った木材を活用し、足りない部材は購入して作られたのがこの水車小屋です。本物のように水車が回転し、それに連動して小屋のなかの仕掛けもきちんと動くという本格的な作りで、ずっと見ていても飽きません。

これからの皆様から寄せいただいた作品をご紹介していきます。趣味ではじめた作品やお孫さんからプレゼントされた絵など、皆様がうれしい! 楽しい! と感じられた作品をお寄せください。
ご投稿などにつきましてはお近くのさくらメディカルスタッフ、または、左記までご連絡をお願いいたします。
皆様からの作品を心よりお待ちしております。

〒943-0141

新潟県上越市子安1378

TEL(025) 522-3391

笑顔で介護と暮らしをお手伝い

「介護を人と物で支える」さくらメディカル

では今夏、新たな取り組みとして「さくらすまいる号」が走り出しました。



さくらすまいる号出発!!

進行!!

新潟地区を中心に活動開始。
介護用品・福祉用具をお試しただけです。

便が解消できるようなご

暮らしを応援する在宅アドバイザー

主な活動は、ご自宅でご暮らしのおられる方々へのご支援と、まだまだ知らない方が多い介護用品や福祉用具の便利な活用方法の啓蒙です。
私たちは、ご自宅での生活の不便さの解消をお手伝いする「在宅アドバイザー」です。

福祉用具の良さを体験・体感

介護用品や福祉用具でお困りの方、お悩みの方などごなたでもご利用いただけます。

提案をしたい! という思いも込められています。
さくらメディカルではまったく新しい活動ですが、大きな目標に向けてスタートしました。

スマイル号のなか(下)と説明に向うスタッフ



当社の介護ショッップ(新潟ユニゾンプラザ店や介護ショッップ新潟店など)では、さまざまな福祉用具をお試しただけま

すが、ご来店が難しい方もおられます。

そのようなときには、さくらすまいる号で自宅を訪問し、お客様に最適な福祉用具をご提案しながら、ご自宅での生活の不便さの解消・解決をお手伝いします。

今後も皆様のお近くで、さくらの花びらが散りばめられた「さくらすまいる号」を発見しましたら、いつでもお気軽にお声をかけてください。

新潟支店 竹林ゆきの
(福祉用具専門相談員)

「さくらすまいる号」のスローガン

- ①…些細なことでもご相談ください。
- ②…暮らしと介護に関することをご提案します。
- ③…楽々できるお手伝いをします。
- ④…素敵な暮らしのお手伝いをします。
- ⑤…まっすぐな思いでお手伝いします。
- ⑥…いろんなご提案をします。
- ⑦…クルマでのご訪問します。



「さくらすまいる号」は出前の介護ショッップ

活動がはじまって約二か月、新車の「さくらすまいる号」の総走行距離は6kmとなりました。
福祉用具のご使用では、

実際に自分でお試しになって、安全・安心してお使いいただける福祉用具を選ばれることがポイントです。

浴室の環境を整えて

寒い冬でも安全・快適

肌寒さを感じられるこれからの季節、「ヒートショック」という言葉をよく耳に

されるのではないのでしょうか？

「ヒート

トショック」とは、

急激な温度差が身体に与える

衝撃のことです。室温が急激に変化すると、血圧が急激に上昇・下降したり、脈拍が早くなった

ヒートショックによる血管の収縮が原因と考えられる「入浴中の事故死」は、身近な交通事故による死亡者よりも多く、年

記録的な猛暑続きだった今夏。寝苦しい夜に悩まされた人も多かった

うです。特に部屋の中で過ごすことが多い高齢者の方にとっては、大変な夏だったのではないで

記録的な猛暑でも心地よく

床ずれナースの大活躍

さくらメディカルでは、暑い夏を少しでも快適に暮らして

いたただけるようにと新商品を導入しました。

この商品は、「床ずれナース」という名称で、ベッドで寝ているときの

トショック」です。

人間の身体は、室温の変化にさらされると、体温を一定に保つために、血管が急激に収縮して血圧の変動や脈拍の変動を起こします。この血圧や脈拍の変動は、心臓に大きな負担を与えます。

このためヒートショックには、心筋梗塞や脳血管障害などにつながりかねない危険性が潜んでいます。

ヒートショックによる血管の収縮が原因と考えられる「入浴中の事故死」は、身近な交通事故による死亡者よりも多く、年

「発汗・ムレ対策」として優れた効果のあるベッドパッドです。

「床ずれナース」の長は、高い技術力で有名な旭化成が独自に開発し

た新素材(フュージョン)を採用していることです。

この新素材は、保湿性にも優れており、「夏涼しく・冬暖かい」という春夏秋冬ご使用いただけ

おすすめ品 浴室や脱衣室のヒートショック対策に――

到来する冬に備えて、さくらメディカルでは、冬の住宅温度差バリアフリー対策商品として、暖房器具と窓をご紹介します。

●浴室や脱衣室を暖房で快適に！

ガス暖房は何といっても素早く暖めて維持費が安く、電気式の約1/3です。衣類乾燥も省エネ運転でお得です。

浴室ガス暖房(天井埋込型)



(リンナイ製)

洗面所電気暖房(壁掛型)



(TOTO製)

洗面所空間にすっきり溶けこむ超薄型デザイン。すっきりパネルで、お手入れラクラク。

●今ある窓の内側に窓をプラス！省エネ・快適・安心の三拍子

話題の住宅エコポイント対象品の樹脂製のサッシです。エコポイント対象期限終了も近づいています。いまからならば寒い冬にも間に合います。ご予定の方はお早めにどうぞ。和室にも調和する「和紙調」や「浴室用」なども取り揃えております。詳細はお近くの当社担当者までお問合せください。

間一万四千人程度との推計もあります。そして驚くことに日本では、七十五歳以上の方が浴室で溺死される事例が諸外国の四〇四十倍と

なっています。その理由は、「浴室の環境」です。

るベッドパッドです。

また、ご使用している間に汚れが気になったと

きには、ご家庭で簡単に丸



マットレスの上に置くだけで快適



3層の立体メッシュが寝床のムレ・湿気を取り除く

上越営業部 清水大輔 (福祉用具専門相談員)

レンタルでもご購入でも対応しておりますので、冬を迎えるこれからの季節でもお気軽にお問合せください。住宅改修のご相談では、「浴槽の縁をまたぐのが困難になってきたが自宅に入浴したい」というご希望が多くあります。この場合は、浴槽の中には入らないでシャワーを浴びるような対応が多くなります。全身にお湯を浴びることが難しいために、シャワーを浴びたまま身体を洗うことが一般的です。このようなシャワーだけの入浴方法の場合は、浴室と脱衣室の暖房の有無が、「快適で安全な入浴」を左右します。

上越営業部(福祉住環境担当) 木浦優紀(一級建築士)

介護ショップ紹介

介護ショップ新潟店

明るく開放的な店内 触れて選んで 使いやすい 介護用品

介護用品



㊦笠原さんと㊦坂井さん

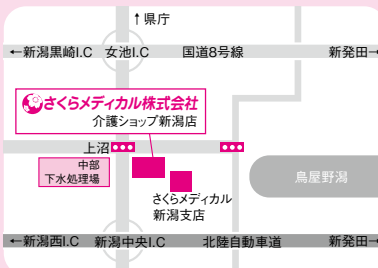
新潟バイパスの女池インターと高速道の新潟中央インターのすぐ近くにある「介護ショップ新潟店」は、平成十九年六月にオープンし、四年目を迎えました。

「ここが介護ショップ？」 当店は天井が高く、また、一面がガラスに囲まれています。陽の光がいっぱいに差し込む、とても明るく開放的な店内が特徴です。いままでの介護ショップのイメージとは違ったものを感じていただけます。

店内には最新の福祉用具や使いやすい介護用品を実際に触れて選んでいただけます。さらに、ワ



ベッドの寝心地体験



新潟市中央区上沼393 TEL025-280-8338

ンランク上のくつろぎと眠りが味わえるパラマウントベッドの「インタイム」の寝心地をご体験いただけます(新潟県内の展示は当店のみ)。

隣接する当社の新潟支店には、一級建築士をはじめとする建築の専門家が揃っており、住宅改修に対するさまざまな悩みやご希望などを一緒に解決します。

当店には居宅介護支援事業所が併設されており、ケアマネジャーがお客様のあらゆるご相談にお応えしています。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。

介護ショップ新潟店 笠原ちほ (福祉用具専門相談員)